

保証人の方へ

東京工業大学 学生支援課

日本学生支援機構奨学金の「返還誓約書」につきまして、奨学生からの依頼により署名・押印される場合は、下記の点にご留意願います。

なお、署名や修正・加筆は、保証人ご本人の手書きでお願いします。

記

1. 『借用金額』をご確認ください。
2. 『保証人』欄の印字内容が正しいか確認してください。
 - (1) 『住所』は、印鑑登録証明書と同じかどうか確認してください。
丁目・番地が「-」(ハイフン) でつながっている場合は間違いではありません。(修正不要)
 - (2) 『氏名』の印字は、カッコ書きになっていますが、旧字体や複雑な文字の場合は、一般的な文字で印字されています。この場合は、間違いではありません。修正不要ですが、署名は印鑑登録証明書の文字でお願いします。
3. 間違いがある場合は、二重線を引き、手書きで修正の上、訂正印として二重線の上に“実印”を押してください。

修正する場合は、一部修正の場合も、当該項目全体を修正してください。

例：生年月日を昭和40年4月1日から昭和40年4月2日に訂正したい場合

(誤) 昭和40年4月~~1~~日
2

(正) ~~昭和40年~~1~~月1日~~
昭和40年4月2日

4. 『署名』欄に印鑑登録証明書と同じ文字で、署名してください。
※間違えやすい文字の例：崎，徳，恵，榮
5. 『実印』欄に、実印を鮮明に押してください。
万一、押しなおす場合は、他の印鑑と重ならないように『実印』欄の近くに(『保証人』欄内に)押印してください。
6. 『続柄』欄が、「その他()」となっている場合は、カッコに奨学生から見た続柄を記入してください。
(例) 大おじ(おば)，離婚した父(母)，義父(母)，知人等
7. 65歳以上の場合、または、4親等以内の親族でない場合は、別途「[様式13]返還保証書」を記入し、資産等の証明書類と合わせて提出をお願いします。
(例外として「離婚した父(母)」も必要となります。)

(裏面) 返還誓約書の修正例

保証人 修正例

※この例は、郵便番号、住所、電話番号、携帯電話番号、氏名、フリガナ、署名、続柄、生年月日、勤務先、勤務先電話番号、実印、すべての項目で修正が必要なケースです。実際は修正が必要な項目のみ修正願います。

【第二種人的保証】

返 還 誓 約 書

(兼個人信用情報の取扱いに関する同意書)

印刷紙法
第5条に
より印紙
は必要あ
りません

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿
私は、独立行政法人日本学生支援機構学資金を下記のとおり借用いたします。
つきましては、独立行政法人日本学生支援機構貸与奨学規程、その他の諸規程によって確認した事項を遵守し、「奨学生のしおり」記載の取扱いにしたい旨を誓約します。
独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」という）から個人番号の提出を求められた場合には個人番号を提出し、裏面記載の範囲で機構が個人番号を利用することに同意します。また、裏面の「個人信用情報同意条項」を承認し、同意します。
なお、私が借用した学資金は、第二種奨学金（利息付）であり、連帯保証人および保証人の保証を受ける制度（人的保証）を選択しました。

平成 30年 5月 1日
借用金額 ￥ 2 4 0 0 0 0 0

奨学生番号	818-04-000000	CD	7 001	採用種別	在学
在学学校	日本学生支援大学				
住所	〒135-8630 東京都江東区青海2-2-1				
電話番号	03-1111-1111	携帯電話番号	090-0000-0000		
氏名	(奨学 太郎)		フリガナ ショウガク タロウ		
署名	奨学 太郎		印 奨学		
続柄	奨学 太郎				
生年月日	平成 11年 11月 11日生 性別 男				
貸与期間	2018年 4月 ~ 2022年 3月	貸与月数	48 月	貸与月額	50000 円
貸与額計					2400000 円
返還期日	毎月27日	返還回数	180 回	初回割賦金	16769 円
割賦金					16769 円
最終割賦金					16917 円
併用返還	併用返還 月賦分 毎月27日	180 回	8384 円	8384 円	8516 円
併用返還	併用返還 半年賦分 毎年1・7月の27日	30 回	50355 円	50355 円	50361 円
併用返還	併用返還 併用返還選択時の総支払い額(利子込み)	3019908 円			

選択された利率の算定方法：利率固定方式
注：利率が未確定なため、返還の条件（目安）は、上限利率の年3.0%（増額貸与部分は、年3.2%）で仮計算しています。確定した年利率で計算した内容については、貸与終了時に送付される通知でご確認ください。

【参考】平成30年6月貸与終了者に実際に適用された利率（年0.1%、増額貸与部分は年0.3%）で計算した場合の返還例（※この利率があなたに適用されるわけではありません）

返還期日	毎月27日	返還回数	180 回	初回割賦金	13440 円	最終割賦金	13473 円
月賦返還	月賦返還選択時の総支払い額(利子込み)	2419233 円					
併用返還	併用返還 月賦分 毎月27日	180 回	6720 円	6720 円	6690 円		
併用返還	併用返還 半年賦分 毎年1・7月の27日	30 回	40322 円	40322 円	40361 円		
併用返還	併用返還 併用返還選択時の総支払い額(利子込み)	2419269 円					

※返還の方法は、本返還誓約書で選択された「月賦返還」又は「月賦・半年賦併用返還」とします。但し、右上印字の返還方式が「所得連動返還方式」の場合は、「月賦・半年賦併用返還」は選択できません。割賦金額等は予定であり、確定した金額は、貸与終了後に通知するものとします。返還回数と割賦金額の計算方法は、「奨学生のしおり」に記載してあります。
※機構は、奨学金の貸与を受けていた者が奨学生としての身分を失った際には、「借用金額」として貸与した奨学金の差額を貸与する義務を負わないものとします。
※ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、奨学金貸与業務（返還業務を含む。）のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報（奨学金の返還状況に関する情報を含む。）が、学校、金融機関及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

※第一種奨学金において、下には「定額返還方式（貸与額に応じた返還回数で算出された割賦金で返還する方式）」又は「提出用」
「所得連動返還方式（機構が所得に連動して算出した割賦金で返還する方式）」のうちから、あなたが選択した返還方式が印字されています。
※第二種奨学金においては、全て貸与額に応じた返還回数で算出された割賦金で返還する方式による返還となります。

※本人が未成年者（20才未満）の場合には、親権者が返還誓約書の記載内容及び機構の諸規程を確認し、同意のうえ、所定の欄にそれぞれ署名・押印してください。親権者とは、民法に定められた親権者のことです。親権者がいない場合には、未成年後見人が同様に応じ署名・押印してください。

連帯保証人親権者(1)	住所 〒162-8431 東京都新宿区市谷本村町10-7	電話番号 03-0000-0000	携帯電話番号 090-0000-9999	氏名 (奨学 一郎)	フリガナ ショウガク イチロウ	署名 奨学 一郎	実印 奨学
続柄	父		昭和 38年 2月 2日生		一奨郎学		
勤務先	(株) 奨学機構		電話番号 03-0000-1111				
保証人	住所 〒226-8503 神奈川県横浜市緑区長津田町4259	電話番号 045-1111-1111	携帯電話番号 090-1111-2222	氏名 (五郎 五郎)	フリガナ イチガヤ ゴロウ	署名 五郎 五郎	実印 五郎
続柄	いとこ		平成 3年 8月 8日生		組機子構		
勤務先	(株) 機構商事		電話番号 03-5555-1111				
親権者(2)	住所 〒162-8431 東京都新宿区市谷本村町10-7	電話番号 03-0000-0000	携帯電話番号 090-9999-0000	氏名 (奨学 春子)	フリガナ ショウガク ハルコ	署名 奨学 春子	実印 奨学
続柄	母		**年**月**日生				

●印字の訂正印は二重線それぞれに対して1つずつである必要はありません。すべての二重線にいずれかの訂正印がかかっているとします。また、訂正印同士は重なっていてもかまいません。ただし、署名訂正印については必ず1つ独立して押すようにしてください。

学校での点検者印	学校番号	104900
	区分	00
	学部学科	2006
	学籍No	123456

※「借用金額」は、本人の選択した月額で貸与終了（予定）月まで借用した場合の金額が表示されています。「借用金額」は貸与中の本人からの額出等により、増減する場合があります。

2018/06/29
000001 (2018/07)